

吉野川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組事例

○8月18日(金)に美馬市の「拝東自主防災会」からの依頼により、拝東公会堂(美馬市脇町拝原)において、堤防が決壊した場合の浸水の想定範囲や、浸水に備える行動について、講習会を実施しました。

○約50名の地元住民の方々が参加されました。

○徳島河川国道事務所は講師として参加し、「各地で起こる災害は他人ごとでなく、吉野川でもいつ起こるか分かりません。だから、いざという時に備えて、皆さん自身や家族の方々にどうするのかを考えてください!」と、参加者に訴えました。

○講習会の様子は翌日の徳島新聞にとりあげられるなど、吉野川流域の防災に対する重要性が高まっています。



講習会の様子



講習会の様子

受講された方の話:『各地でゲリラ豪雨などの被害が起きていて人ごとではない。避難方法を考えておきたい。』(平成29年8月19日 徳島新聞より)

堤防が決壊した時の浸水範囲の広がり方を説明



浸水に備える行動などを紹介

